

設定一物件設定一設定一実行モード一計算・出力

◆ 計算・出力

実行モード設定

計算書指定	計算・出力	たわみ設定	パラメータ	断面欠損	その他	4分割	連動設定	単位
計算ルート	ルート 1							
梁・母屋梁の断面自動算定	行う							
柱頭・柱脚接合部の引張耐力の検定方法	標準計算法							
水平構面横架材端部の必要引張耐力の算定方法	標準計算法							
めり込みの検討	長期・短期を行う							
基礎の検討	行う(基礎梁: 短期加力 2 方向)							
転倒の検討	行う							
仕口検討時の梁成整合	行う							
床タイプ	根太あり							
性能評価等級	出力する							
部屋高さ仕様	出力する							
設計方針	出力する							
荷重伝達図の作成	しない							
荷重図の作成	しない							
横架材接合部の有効断面積	$A_e = A_o \cdot 2 / bd$							
柱頭柱脚金物配置図の金物工法表示位置	枠内							
基礎の検討方法(梁断面)	許容応力度計算(変位法)							
許容応力度(変位法) 基礎梁検討時の基礎の自重	考慮する							
屋根領域分割方法	亀甲分割							
集成材の厚さ方向の辺長に対する係数の考慮								
【梁】	考慮する							
【土台】	考慮する							
【柱】	考慮する							
集成材の厚さ方向の辺長に対する係数の安全側考慮	考慮する							
<input type="button" value="了解"/> <input type="button" value="キャンセル"/>								

<仕口検討時の梁成整合>

梁端部の仕口の検討において、構造計算時に自梁と相手梁（自梁がかかる梁）との梁成の整合を行っています。つまり、これを「行う」にすると、荷重などで決まった梁成よりさらに成が大きくなる場合があります。この処理を行わない場合は設定を「行わない」に変更してください。

※「梁・母屋梁の断面自動算定」が「行う」になっている場合に有効となります。梁・母屋梁の断面自動算定を行わない場合は、梁成の整合もされません。